

健康に与える地域特性の影響例

	総数	60歳以上
■かつらぎ2012	472	388
■みなべ2012	615	366
■上富田2013	295	142
合計	1382	896

(2011年以来、受診者の延べ人数は2,843名)

◇高血圧症の背景因子を探る(中間報告)

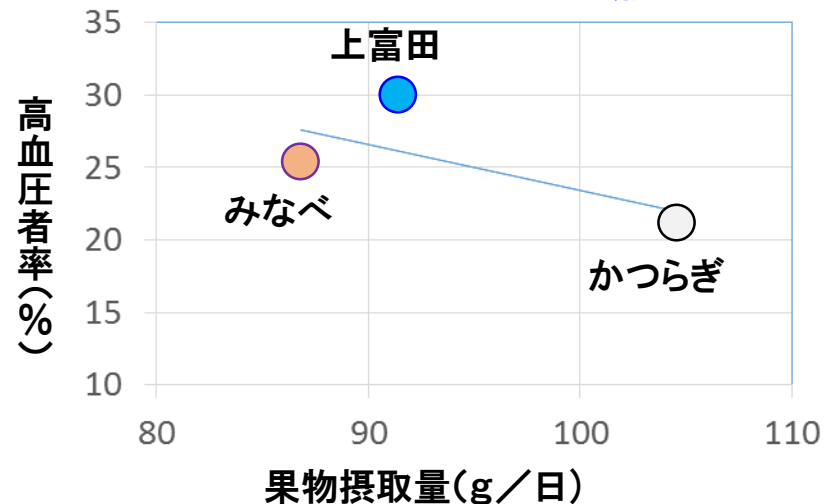
(全1,382名を対象に、相関分析、重回帰分析等)

- 住民の血圧に最も影響をあたえていたのが
食事における果物(カリウム)の摂取量
(体内の余分な塩分を排出)
- プラーク出現に最も影響をあたえていたのが
食事における魚(ω 3脂肪酸)の摂取量
(悪玉コレステロールを減らし、動脈硬化を予防)
- プラークとは頸動脈内壁の肥厚(:進行すると脳出血や心筋梗塞等危険)

食生活習慣の影響例

果物摂取量と高血圧者率

(60歳以上)



魚摂取量とプラーク出現率

(60歳以上)

